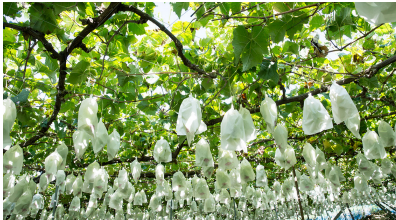


生食向け（独自販路型）_ ぶどう ①

優良事例産地	アグベル（グローバルぶどう輸出産地協議会）
品目	ぶどう
地域	山梨県甲州市
経営体の分類	単一経営体
出口	海外輸出（6割）
モデル類型	生食向け（独自販路）

□ 取組概要



根域制限栽培を中心とした省力栽培と輸出を中心とした新たな需要先の開拓によって慣行品の栽培と販売をアップデート

産地の特徴

園地

- 根域制限栽培によって、整園期間を7年から4年に短縮
- 養液土耕栽培によって灌水を自動化

栽培方法

- 作業履歴と労務管理をシステムで一元管理
- 防除体系を台湾の検疫規格に合わせているため輸出販路の開拓が容易

人

- パートにも評価制度を導入し、定着率を向上
- 従業員の冬場の労働を確保するため園芸作物（いちご）も栽培

販路

- 販売先の要求品質ごとに園地を振り分けし、園地ごとの生産方法を変更

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

品目に応じて機械化できる作業においては、様々なスマート化が進んでおり、ぶどうにおいても選果プロセスの機械化が実現できればサプライチェーン全体において更なる生産性向上の効果が期待できる。

台湾は世界的に見ても検疫基準が厳しい国であることから、あらかじめ台湾基準で栽培している場合は、アジア以外への販路開拓も見えてくる。



輸出特化_ 柑橘 ①

優良事例産地	ネイバーフッド（みかん輸出コンソ）
品目	柑橘
地域	宮崎県日南市
経営体の分類	単一経営体
出口	海外輸出
モデル類型	輸出特化



□ 取組概要

品種の選定、防除暦の策定、貯蔵や輸送のノウハウ構築など、輸出に向けた取組を深掘りするとともに、輸出産地構築のために産地間の広域連携を実践

産地の特徴

園地

- 低樹高密植栽培によって労働負荷の低減
- 広域産地との連携によって産地リレーを行い出荷期間の長期化による収益の確保

栽培方法

- 摘果を省いて省力化
- 独自の台湾向け防除暦を策定
- 残留農薬検査を迅速化する体制を構築

選果

- 選果規格をスリム化（S/M/L/規格外/加工用）することにより人員を削減

輸送

- 仲介事業者を挟まず、直接貿易することで輸送コストおよびロス原因の排除を実現

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

迅速な残留農薬検査ができる事業者や品質管理に特化した物流会社などと連携することによって輸出に対応しようとする取り組みが評価できる。

広域連携による出荷は、全国的にみても事例がほとんどなく、海外からの需要に長期間応えることができるため有効であると考えられる。また、直接貿易によってノウハウの蓄積ができることも経営体の強みとなる。



生食向け（効率生産型） _ 柑橘 ①

優良事例産地	JAみっかび（静岡県三ヶ日町産地構造転換コンソ）
品目	柑橘
地域	静岡県浜松市
経営体の分類	単一経営体
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

選果機に集積されるデータや営農・販売データなど、さまざまなデータを活用した新たな栽培・販売の仕組み構築を推進

産地の特徴

園地

- SSの利用ができる園内道を整備
- 設備投資判断ができるような収益シミュレーションを提供

栽培方法

- 生産管理システムにて、園地を筆ごとに分析して最適な営農指導を提案

選果

- 国内最大規模の選果場を設置し、生産者の家庭選別の手間を削減

輸送

- 市場流通がメインではあるが、外部事業者と連携して加工商品を開発
- EC販売を強化し売り上げを向上

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

産地単位でデータを分析し活用して営農の改善を図るPDCAサイクルが容易にできるようになり、生産技術や経営的改善につながるようになることを期待したい。

大型の系統出荷産地でありながら、様々なデータ活用や就農者のマッチングの仕組みの導入など、いち早く先進的な取り組みを進めている。



生食向け（効率生産型） _ ぶどう ②

優良事例産地	サンワファーム（ブドウイノベーションコンソ）
品目	ぶどう
地域	広島県世羅町
経営体の分類	単一経営体
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

多収と省力可能な海外産品種を導入するとともに、栽培管理を体系化し効率的な生産体制を構築

産地の特徴

品種	栽培方法	人	選果
<ul style="list-style-type: none"> 摘粒の必要がない海外品種を導入し、省力栽培を実現 	<ul style="list-style-type: none"> 作業効率を最優先し、品質は譲歩 摘心の代わりにフラスター液剤を散布 仕上げ摘粒は実施しない ジベレリン処理後に摘房 	<ul style="list-style-type: none"> シルバー人材を活用し、誰でもできる作業技術・負荷の栽培工程を設計 	<ul style="list-style-type: none"> 他品目(レモン)の選果機を流用してコスト削減

Point ! 優良事例産地のココがモデル化のポイント

生産環境に適した省力化が可能な品種の選定を行い、その生産体系を構築できることを期待する。

果樹栽培において異業種参入が可能となる条件として、マニュアル化できるかが重要。ぶどうは樹ではなく、蔓であることから管理作業がマニュアル化し易いのではないかと推測。



生食向け（効率生産型） _ ぶどう ③

優良事例産地	株式会社 吉次園
品目	ぶどう、柑橘、りんご、柿、なし、栗ほか
地域	熊本県熊本市
経営体の分類	単一経営体
出口	観光農園、卸売、直売所、自社加工ほか
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

果樹の観光農園を主とした独自の販路を確立することで収穫作業の省力化とマーケティングを両立させるとともに、労働力の最適な分配を行っている。

産地の特徴

園地

- ・中古ハウスをつかってハウス栽培の園地を拡大
- ・ぶどうの他に、柑橘、りんご、柿、なし、いちご（ぶどうの次に栽培面積が大きい）を栽培

栽培方法

- ・ハウスのかん水と温度管理は環境制御設備によって自動化することで品質の安定化を図っている
- ・観光農園を運営しているため、約5割の園地は収穫作業がない

人

- ・いちご（園芸作物）とぶどうを組み合わせることで従業員の周年雇用および作業ピーク時の労働力の補填が可能となっている

取引形態

- ・卸売においては早出し対応や樹なり完熟商品の出荷対応が可能であることから高単価で販売ストともに環境制御によって収穫時期を調整し納期を遵守

Point

優良事例産地のココがモデル化のポイント

ぶどう、イチゴの他、複数の果物を導入して周年雇用を実現し、販路の多様化や、自社で加工品の製造までを行うなどの取り組みにより、収益性を確保している。

特に果樹は観光農園や直売などで一番美味しい状態で販売できることが理想であり、これらがブランディングにつながる（小売販売では流通工程を挟むため、実現が難しい）。



生食向け（効率生産型） _ ぶどう ④

優良事例産地	株式会社GREENCOLLAR
品目	ぶどう
地域	山梨県北杜市
経営体の分類	単一経営体
出口	卸売、国内市場流ほか
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

国内と海外で輪作を行うことで、周年供給を実現するとともに効率的に労働力を分配

産地の特徴

園地

・国内で約3ha栽培、ニュージーランドで15ha栽培。1～2年以内に国内でさらに8ha拡大（全て新規の園地）

栽培方法

・スプリンクラー、かん水チューブを設置し、養液土耕栽培することによって品質を安定化

人

・生産のサイクルが異なるニュージーランドで生産することにより年2作の栽培を実施。また、海外の労働力を国内から派遣している。海外で勤務できる魅力から多くの若手を雇用できている。

選果

・規格は販売先のグレードにあわせて独自に10段階に区分。出来た商品を区分するだけでなく、販売先ごとに栽培方法を変えている（契約園地などを設けている）

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

労働力を標準化するための工夫として、本事例のような海外との輪作のみならず、国内でも他の地域との輪作をパッケージ化した取組は面白い。

複数地域での栽培することによって、周年供給を目指したマーケティングは評価できる。



生食向け（効率生産型） _ 柑橘 ②

優良事例産地	株式会社シトラスプラス
品目	柑橘
地域	佐賀県唐津市
経営体の分類	単一経営体
出口	卸売、国内市場流通ほか
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

値頃感のある販売単価を分析し、コストから逆算した生産と販売を実践するとで、大消費地に依存しない商圏を確立

産地の特徴

栽培方法

・栽培工程を約50工程に独自区分。従業員に対する作業工程の見える化と作業進捗を管理することで経営者自らが直接作業をしない場合でも最低8割程度の収量を確保

機器・設備

・統合環境制御装置（温度、湿度、CO2、飽差）の導入により収量と品質を安定化（導入初年度より前年度比1.8倍の収量）

産地形態

・出荷量の8割は中間事業者を挟まずに自社で納品まで一貫して対応。規格外品は清涼飲料ではなく、toB向けの一次原料で販売とすることで自社加工が可能となっている

販路

・大消費地向けの出荷ではなく、片道1時間以内のエリアをメインの商圏としている（自社便で配送）。それによりモデル・ローの商圏（価格帯）で競争力のある販売価格を実現

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

販売戦略をベースとした生産規模の決定や生産計画と、施設栽培によりそれを実現できる体制および高い生産技術があることを高く評価できる。統合環境制御装置が先駆的に導入され、その高い技術により活用されている。

環境変化への適応、栽培管理の平準化、製造原価の把握、など隙がない農業経営を行っていることから今後更なる計規模拡大が期待できる。



生食向け（効率生産型） _ 柑橘 ③

優良事例産地	JA熊本うき
品目	柑橘
地域	熊本県宇城市
経営体の分類	JA
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

産地ブランドを持続的に継承するための取り組みを実践

産地の特徴

園地

- 水田、畑地からの転作を推進（大規模の基盤整備）
- 農地中間管理機構や自治体と連携し園地を斡旋

栽培方法

- マルチ栽培の導入による品質向上
- 品質を成績表として生産者に配布
- 多品種を栽培することで生産者の経営リスク軽減に繋がっている

選果

- 家庭内選果の軽減によって生産者の負担減
- 選果の品質分析結果で出荷順番をJAが調整

販路

- 需要期に合わせた施設と露地栽培の併用

Point

優良事例産地のココがモデル化のポイント

「不知火」（デコポン）の生産について、需要期に合わせて露地と温室を併用して生産体制を確立するとともに、品質基準を定めて品質の安定化を図る取り組みが定着している。

多品種栽培や施設（加温、無加温、屋根かけ）の導入により、出荷リレーできることで出荷期間を長期化することは生産者の経営リスク低減にも繋がっていると考えられる。



生食向け（効率生産型）_ 柑橘 ④

優良事例産地	JA熊本市
品目	柑橘
地域	熊本県熊本市
経営体の分類	JA
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

選果場を中心とした栽培・販売体系を構築した系統出荷

産地の特徴

園地

- ・改植のタイミングで園地整備(樹形、園道の幅拡大)を実施

人

- ・自治体と協力してトレーニングファームの設置を検討

選果

- ・サテライト選果場を設置し、選果場のスムーズな稼働に繋げることで出荷までのリードタイムを削減
- ・予倉庫の設置により原料をプールでき、選果場を効果的に稼働

輸送

- ・パレット輸送により配送コストを削減
- ・パレット輸送は、物流業界の2024年問題への対策としても寄与している

Point

優良事例産地のココがモデル化のポイント

園内道の整備や老木の改植、生産者5～6名ごとにセンサー付きの家庭選果用の選果機の導入、パレット搬送の導入など生産から流通までの、省人、省力化の取り組みが産地として総合的に行われている。

サテライト選果の導入や予倉庫の設置など、選果場を中心に生産者の品種構成など経営を考慮した効率的な選果場の稼働と産地形成が特徴的である。また、パレット輸送システムをいち早く導入し、省力化・効率化に向け経費削減だけでなく、物流業界の課題解決にもつながる取り組みであると考えられる。



生食向け（効率生産型） _ 柑橘 ⑤



優良事例産地	JAとびあ浜松
品目	柑橘
地域	静岡県浜松市
経営体の分類	JA
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）

□ 取組概要

系統出荷産地における選果場の効率的な運営と担い手育成に注力した中小規模の農業者の産地を支える仕組み

産地の特徴

栽培方法

- ・樹形を変えるのではなく、コンパクトな樹高になる品種を導入することで省力化
- ・土壌中の根域を制限した根域制限栽培も少しずつ増加している（除草の省力化、肥料の節減）

設備・機器

- ・荷受情報や出来高情報などをスマホ配信することで、農業者および選果場担当者のやり取りを省力化

人

- JAが担い手確保・育成を主導
- ・園地の幹旋
- ・新規就農者などの即独立は許可せず必ずベテラン農家のもとで研修させる期間を設けている
- ・日曜勉強会の開催（栽培指導）

選果

選果場施設（設備）を更新。荷受、選別、製品管理などの作業を効率化し、これまで40名ほどの作業者を要したが、25名ほどで作業が可能となった

Point

優良事例産地のココがモデル化のポイント

平均70歳以上の農業者にスマホをつかって情報提供することを定着させたことが大きな成果。インフラが整備されたことで、今後、データをつかったインセンティブの提供や分析によるフィードバックを行うことができる。

青島だけでなく、品種が多様化しており実需のニーズをキャッチアップできている。量販店において温州みかんは売れ筋であることから奥手の品種まで需要が高い。



生食向け（独自販路型） _ 柑橘 ⑥

優良事例産地	青木農園
品目	柑橘
地域	静岡県静岡市
経営体の分類	個別経営体
出口	卸売・国内市場流通・輸出
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

パイロット型園地と傾斜がきつい園地での栽培を併用しながら生産規模を拡大

産地の特徴

園地①

・地域の空いた農地を借り受けながら規模拡大を進めている。栽培園地のうち約半分はパイロット型園地（軽トラで園地に直接乗り入れ可）で残り半分が傾斜のきつい園地で栽培

園地②

・温州みかんはパイロット型園地で栽培することで効率生産と多収を目指す栽培を行い、雑柑類を傾斜のきつい園地で栽培し、多収よりも食味向上を目指す栽培を行なっている

人

・栽培技術の会得が困難であることから、従業員への技術継承のために気象条件ごとの管理データとそれらによる作物の状況を収集しマニュアル作成を進めている

販路

・相場の下落などのリスクヘッジと収益を最大化するため、直販30%、系統出荷30%、卸売販売（輸出を含む）40%、と販路を分割している。（一部台湾へも輸出販売）

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

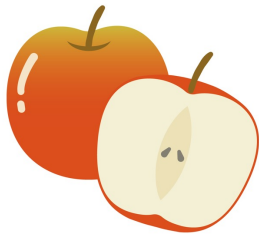
農地を借り受けながら規模拡大を図っており、軽トラックが園地に入ることができるような整備も進められている。成熟期の異なる品種の導入による収穫労力の分散や出荷期間の延長が図られている。従業員への技術継承のためのマニュアル作成の取り組みがある。

量販店はこれまで3月にフロリダ産のグレープフルーツを販売していたがハリケーンや為替の問題で激減していることから、温州みかんの後に食味の良い柑橘があれば更なる販路の拡充も可能



生食向け（効率生産型）りんご ①

優良事例産地	長野県下JA
品目	りんご
地域	長野県
経営体の分類	農業団体
出口	国内市場流通
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

新技術（高密度栽培等）の導入だけでなく、担い手に対するサポート（苗木の供給等）を手厚くすることによってりんごの栽培体系の転換を推進

産地の特徴

園地

- ・高密度Y果栽培によって、苗木を定植後、2～3年ほどで収穫が可能となる
- ・一方通行で作業できることから作業性が向上

栽培方法

- ・全農ながので苗木（フェザー苗）を年間8～10万本栽培しており、凍傷などの被害を受けた場合や生産規模拡大を行う際に、農業者は苗木の提供を受けることができる

人

- ・剪定作業を標準化し人依存の高度技術を簡略化
- ・里親制度的な事業により高密度栽培を導入し、新たな参入者が増え新たな産地となっているケースもある

選果

- ・収穫後の作業は基本的には全てJAの共選場で実施（農業者による選果作業などは発生しない）

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

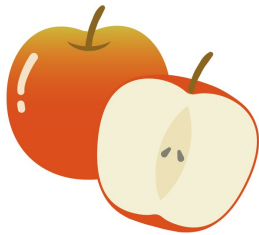
JAが別法人を立ち上げ、離農園地などを高密度栽培の園地に改植し、その園地を新規就農者に提供するという仕組みをつくりあげていることが地域内に新たなりんご産地を創出しているということにつながっている。

技術指導や園地および苗木の提供など、担い手確保につながる取り組みであり、これらは、トレーニングファーム的な要素を含んでいると言える。



生食向け（効率生産型）りんご ②

優良事例産地	青森県下
品目	りんご
地域	青森県
経営体の分類	農業団体ほか
出口	国内市場流通ほか
モデル類型	生食向け（効率生産型）



□ 取組概要

高密植栽培の導入や貯蔵や流通の最適化を推進

産地の特徴

品種	栽培方法	選果	取引形態
<p>・主力品種「ふじ」の割合が5割を超している。これに「早生ふじ」が加わるとおよそ6割。黄色品種も2割を越してきている。周年供給に耐えられる貯蔵性の良い品種導入の必要性がある</p>	<p>・県内の高密植Y化栽培の割合は約25%。このうち高密植栽培はR6年3月末時点で凡そ45畝程度まで増加してきている</p>	<p>・産地市場や民間が選果サービスを開始している。また、選果不要で集荷を行う事業者も現れている</p>	<p>・輸出が好調なことから価格は上昇している。しかし、流通工程において中間事業者や運送回数が多いことが課題</p>



Point 優良事例産地のココがモデル化のポイント

R6年度は記録的な豪雪があった。高密植栽培の樹形は雪害（割れ、裂けなど）に強いと言われているが、密植しているため豪雪の年に被害が拡大する野ねずみの食害の被害状況について検証が必要であると考え。

Y果栽培の割合が順調に増加していることやりんごの輸出量も圧倒的に多いことから、行政も含め産地として地域が一体となって様々な取り組みを進めていることが見受けられる。



生食向け（独自販路型）りんご ①



優良事例産地	株式会社REDAPPLE
品目	りんご
地域	青森県弘前市
経営体の分類	単一経営体
出口	主にEC
モデル類型	生食向け（独自販路型）

□ 取組概要

生産規模を効率的に拡大しながら消費者へのダイレクト販売の仕組みを確立することで利益の最大化

産地の特徴

園地

- ・地域の既存園地を新たに借受ながら規模拡大するとともに、省力樹形園地に改植している
- ・園地に応じて丸葉栽培（約75%）、Y果栽培（約15%）、高密植Y果栽培（10%）

栽培方法

- ・摘花剤や摘果剤により間引き作業を省力化
- ・葉取らず栽培
- ・環境モニタリングセンサーをエリアごとに設置し土壌水分をモニタリングするとともに自動かん水装置を導入

選果

- ・選果・保管施設を自社保有しており出荷までを一貫体制化
- ・日単位の収穫許容量と選果許容量を設定し、収穫から販売までの作業量をコントロールしている

取引形態

- ・ほぼ全量を消費者に直接販売（内、自社ECサイトでの販売が9割、残りがプラットフォーム系や通販会社への委託など）



優良事例産地のココがモデル化のポイント

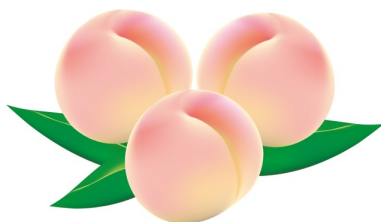
環境モニタリングセンサー等の導入により栽培管理を効率化されているが、さらなるデータ活用として収量・品質等のデータの紐づけによる次年度の栽培管理への展開が期待される。

生産だけではなく、自社で販売までを完結することで高位安定化した売上を確保しており、それらが従業員を雇用可能な収益構造につながっている。



輸出特化_ 桃 ①

優良事例産地	JAふえふき 一宮ブロック
品目	もも
地域	山梨県笛吹市
経営体の分類	農業団体
出口	国内市場流通、輸出ほか
モデル類型	輸出特化型



□ 取組概要

輸出を強化するための栽培体系や出荷管理のスマート化を目指す取り組み

産地の特徴

園地

・輸出専門の部会を設立し、専用の園地で栽培

栽培方法

- ・防除暦を策定し厳格に管理することで慣行基準の栽培でありながら台湾の検疫をクリア
- ・JA単位でグローバルGAPの団体認証に取組中（2025年度に認証取得予定）

輸送

- ・害虫の混入を防ぐために穴の空いていない包装資材を特注
- ・物流会社の協力によって空港までの輸送タイムラインを短縮

取引形態

・輸出に特化した卸売事業者が出荷～販売までをコーディネート

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

輸出においては、出荷場での物理的な管理も必要であるが、生産段階で病害虫発生状況を把握することや地域の放任園はしっかり伐採することも重要な対策となる（伐採せずに放置することで害虫の温床になる）。

今後アジア以外に対して輸出を拡大していくことに対しては、グローバルGAPが強みとなるのではと考えられる。



生食向け（効率生産型）_ 栗 ①



□ 取組概要

栗の園地管理や収穫などを効率化

優良事例産地	山江村
品目	栗
地域	熊本県球磨郡山江村
経営体の分類	-
出口	加工品ほか
モデル類型	加工向け大量生産

産地の特徴

園地

・水田転作による密植栽培での効率化を計画

栽培方法

・防除が必ずしも必須でないことから、有機JASの取得が容易
・栗を剪定した枝を炭化・土壌へ貯留することで炭素を貯留する取り組みを行っている

人

・収穫ロボットおよび電動の収穫機（手押しタイプ）によって収穫作業を効率化（実証中）

保管

・収穫後の品質が落ちやすく、収穫後すぐに貯蔵する
・真空貯蔵およびゼオライト貯蔵を実証中

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

栗は自家で調理する家庭が激減していることから、加工品での消費に変わってきているため外観品質は気にしなくても良くなっている。

栗の収穫ロボットは運搬も可能と考えられるため、地域間でのシェアリングなどもできるのではないかな。



生食向け（効率生産型） 栗 ②

優良事例産地	株式会社バストラル
品目	栗
地域	熊本県山鹿市
経営体の分類	単一経営体
出口	加工品ほか
モデル類型	加工向け大量生産

□ 取組概要



里山地域において持続可能な産地形成を行うために地域の農産物加工場の再生を主軸とした農業経営を実践

産地の特徴

人

- ・地元の高齢者に対して年金補填型農業として役務提供
- ・若者は加工事業に従事されることによって若い感性で商品のブランディングを推進

加工

- ・廃業となった地域の農産物加工場の再生を主軸とした里山地域の持続可能な産地形成モデルをベースに事業設計（生産から加工まで一元化）

取引形態

- ・地域の生産者からも仕入を行い全て自社加工（アイスやスイーツ）していることから、最終商品の売価から逆算したコストを試算。中山間地域の栽培であっても利益を出すことが可能な買取額を設定

販路

- ・洋菓子店とカフェを設立し、生産、加工、販売までの一貫体制で事業を行なっている
- ・地域の栗と九州産の生クリームでつくるモンブランは年間約3万個販売

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

最終製品の売価をもとに買取額を設定できることが強み。生産者にとっても買取価格が相場ではなく明示的になっていることで取引の判断をし易い状況が生まれている。

地方において限られた人的リソースを最大限活用するために、年代ごとの活躍する場を創生することはとても重要である。



生食向け（独自販路型）_ 柿 ①

優良事例産地	株式会社パンドラファームグループ
品目	柿
地域	奈良県五條市
経営体の分類	単一経営体
出口	卸売・加工品ほか
モデル類型	生食向け（独自販路型）

□ 取組概要



地域においてパイロット園地での大規模生産および買取販売の仕組みを提供

産地の特徴

園地

- ・地域において500～600haを開墾して平地化することで機械の導入が可能な園地を整備
- ・SSの導入、乗用モアで草刈り
- ・収量よりも栽培効率向上のために樹形を低く横に仕立てている

品種

- ・収穫期間を延ばすために早生から奥手までの様々な品種を栽培

人

- ・並行して梅も栽培しており、農閑期には梅干し生産の作業に従事させることで周年雇用をして労働力を確保している

加工

- ・市域の協力農家（50～60軒）より仕入れを行っている。規格・サイズを限定せず全て買取。規格外品については自社で商品化（例）梅→小さいものは梅肉エキス、柿→規格外はあんぽ柿や干し柿に加工

Point

！ 優良事例産地のココがモデル化のポイント

園地が集約・整備された産地であることから、様々なスマート化の導入ハードルが低い。今後、栽培と収穫のデータをつなげるような取組を期待。

青果だけでなく加工品の生産までを担っていることから、多くの生産者から集荷することが可能となっているとともに、生産者は生産だけに専念することが可能となっている。

